






基礎学力コンテスト 2020夏 小5理科 出題範囲

はんい



〔テスト範囲になる内容〕 ★気になる言葉やわかりにくいものは、学校の教科書でも調べてみましょう。

天気と情報…天気の变化・台風などの特別な天気など
 流れる水のはたらき…しん食作用・運ばん作用・たい積作用・特別な地形
 実験器具…試験管・ビーカー・こまごめピペット・フラスコ

言葉	言葉の説明			
快晴 (かいせい)	空全体を10としたとき、雲が空の0~1を占(し)めているとき、その天気を快晴と呼ぶ。記号：○			
晴れ	空全体を10としたとき、雲が空の2~8を占(し)めているとき、その天気を晴れと呼ぶ。記号：①			
くもり	空全体を10としたとき、雲が空の9~10を占(し)めているとき、その天気をくもりと呼ぶ。記号：◎			
アメダス	全国の気温や雨量などの気象情報(きしやうじやうほう)を自動的に観測(かんそく)するシステム。AMeDASとも書く。			
巻層雲 (けんそううん)	うすい布のように、かげがなく広がった白い雲。うす雲ともいう。			
積乱雲 (せきらんうん)	空高くまでむくむくともり上がった、白くて大きなかたまりの雲。夕立ちやかみなりが発生する。入道雲とも。			
高積雲 (こうせきうん)	白または灰(はい)色のやや大きいかたまりになった雲。ひつじ雲ともいう。			
高層雲 (こうそううん)	空全体にうすいわたをしいたような雲。おぼろ雲ともいう。			
乱層雲 (らんそううん)	空一面をおおう暗い灰(はい)色の雲。雨や雪がふることが多く、雨雲ともいう。			
層積雲 (そうせきうん)	くもり空にあらわれる、畑のうねのような、いくつもの雲が長く横たわっているような雲。雨はふらない。			
風向 (ふうこう)	16方位で表す。北からふいてくる風の風向は北、南東からふいてくる風の風向は南東。			
台風	熱帯低気圧(ねったいていきあつ)のうち、風速が毎秒17.2m以上のもの。地上に強い雨や風をもたらす。			
偏西風 (へんせいふう)	日本上空にふく強い西風。この影響(えいきやう)で日本付近では雲が西から東へ移動する。			
夕立ち	夏によく発生する、夕方にふるはげしい雨のこと。昼に急げきに発達した積乱雲が原因である。			
しん食作用	流れる水が、土地をけずるはたらき。水の流れが速いと土地はけずられやすい。			
運ばん作用	流れる水が、石や土を運ぶはたらき。水の流れが速いと石や土は運ばれやすい。			
たい積作用	流れる水が、運んできた石や土を積もらせるはたらき。水の流れが速いと石や土は積もりにくい。			
扇状地 (せんじょうち)	川が山から平地に出るところで、すなや土が積もってできた土地。おうぎ形をしている。			
三角州 (さんかくす)	河口付近で、すなや土が積もってできた土地。扇状地とはすなや土が積もる場所が違う。			
風化 (ふうか)	岩石が長い時間、雨風にさらされて、ぼろぼろにくずれていくこと。			
実験器具 (じっけんきぐ)				
試験管 (しけんかん)	ビーカー	こまごめピペット	丸底フラスコ	三角フラスコ
				
科学実験(かがくじっけん)のときに、薬品(やくひん)を入れて使う。液体をまぜるときには、口の方をもつて底を回すようにふる。	科学実験(かがくじっけん)のときに、薬品(やくひん)を入れて使う。目もりは真横から見る。	科学実験(かがくじっけん)のときに、ビーカーやフラスコに液体を入れるのに使う。赤いゴム球を押して、液体を出し入れする。	科学実験(かがくじっけん)のときに、薬品(やくひん)などの液体を入れるのに使う。底が丸いので、火で加熱するのに適している。	科学実験(かがくじっけん)のときに、薬品(やくひん)などの液体を入れるのに使う。底が平らなので、置いて使うのに適している。